

# 社会科学習指導案

日 時 平成23年11月11日（金）2校時  
会 場 1年1組教室（南校舎 4階）  
生 徒 1年1組（男16名 女20名 計36名）  
授業者 女鹿 芳文

1 単元名 第3章 中世の日本と世界（歴史的分野）〔教育出版：歴史～未来をみつめて～〕  
中単元 武家政治のはじまり

## 2 単元について

### （1）学習者観

- ・ 生徒は明るく互いの考えや意見を臆することなく発表し合う。さらに、社会科では学習活動が活発で、調べ方、まとめ方なども相談する様子が見られる。しかし、資料を的確に読み取り、資料に基づいた論理的思考活動となると苦手である。
- ・ 生徒は源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、小学校で調べ学習を通して武士による政治が始まったことを学習してきた。特に将軍と御家人の主従関係によって武家政治が展開されたことを中心に取り扱ってきた。
- ・ これまでに、課題解決のために調べ学習を行い、自分なりに歴史的事象の関連を意識しながら、工夫してまとめる学習を行ってきた。それにより、生徒個々がまとめ方を工夫し、ノートに記録する力が養われてきた。

### （2）学習材観

- ・ 武士は、争いごとが絶えず社会が不安定な状況で、貴族を護ることで地位を高め成長した。さらに、中世は、貴族政治から武家政治へ大きく支配体制が転換した時期となった。
- ・ 貴族政治との比較により、いっそう明確に武家政治の特色を捉えることができるとともに、支配体制が変化することが、文化や学問、さらに宗教にも大きな影響を与えることを理解させることができる。
- ・ 古代において、日本は東アジアの国々（特に中国や朝鮮）から影響を受け、発展してきた日本であるが、中世では大陸からの影響よりも武士社会の影響による文化の形成がなされた。

### （3）学習指導観

- ・ 新学習指導要領においては、武家政治の特色を歴史的事象から考えさせ、武士による支配がしだいに広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させることが求められる。
- ・ 鎌倉幕府の成立に関わっては、貴族が実権を持っていた律令制による政治のしくみと比較し、鎌倉幕府の政治のしくみを捉えさせたい。さらに、地方の政治にも注目させたい。
- ・ 当初は武家と公家の二つの政府による支配から始まったが、しだいに幕府が勢力を増していく支配体制の変化を、幕府と朝廷の関係を意識させながら捉えさせたい。特に、支配の範囲が東国から西国に広がっていき、武家政治が安定していく要因を考えさせたい。
- ・ 当時の様子が描かれた絵や文章資料、現存する彫刻等から武家社会の特徴を読み取る力を養いたい。

### （4）研究との関わり

- ・ 「活動的な学び」を行うために、資料を通じたテキストとの出会いと対話を重視し、資料から読み取ったことを社会的事象に関連させる力を養いたい。
- ・ 「表現と共有」に関連し、資料に基づいて発表し、正確な言語表現を促す。
- ・ 「共有の課題」は基礎的知識へと導く課題と捉え、「ジャンプの課題」は基礎的知識を基に知的探究を深められる学習活動としていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

観点	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
目標	10～13世紀ごろの世界の動きや、日本で武士が台頭して鎌倉幕府が成立したことに対する関心を高め、その支配が全国に広まるなかで生まれた社会や文化について、意欲的に追究しようとしている。	東アジアや中世ヨーロッパの国際関係、鎌倉幕府の成立と武家政治の広まり、禅宗の文化的な影響について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	東アジアや中世ヨーロッパの国際関係、鎌倉幕府の成立と武家政治の広まり、禅宗の文化的な影響に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。	広大なモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったころ、武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に新たな社会や文化が生まれたことを理解し、その知識を書くことができる。
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>平安時代の中ごろに登場した武士がしだいに勢力を伸ばし、ついに政権を握ったことに関心を高め、その過程を意欲的に追究しようとしていたか。</li> <li>御成敗式目が鎌倉時代の社会に与えた影響を調べようとしていたか。</li> <li>「東大寺南大門」や「金剛力士像」を観察して、鎌倉時代の文化の特色を意欲的に発表しようとしていたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝廷の勢力が衰えていないなかで、武家政権を確立するために頼朝がつくったしくみや行った政策を、平氏の政治とも比較して多角的に考察できたか。</li> <li>絵巻物に描かれた戦いの場面をもとに、武士が地位を高めた理由について朝廷との関連をふまえて考察し、説明できたか。</li> <li>鎌倉幕府の支配が広がっていった理由を考察し、表現できたか。</li> <li>承久の乱で御家人たちが幕府側に結集した理由について、「政子の訴え」をもとに考察し、説明できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宋・元や高麗との交流や貿易により、日本にもたらされた文化や学問について、本文や資料から読み取って整理できたか。</li> <li>「武士の館」や「笠懸」の絵を活用し、武士の暮らしの特色や心構えなどについて読み取ることができたか。</li> <li>「東大寺南大門」や「金剛力士像」の写真を観察し、既習の時代の文化と比較しながら表にまとめることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平氏が武士として初めて政権を握ったことや、政権は広大な公領や荘園の支配を基盤にしていたことを理解できたか。</li> <li>源平の争いから鎌倉幕府の成立までの経緯、守護や地頭の権限、封建制度のしくみについて理解できたか。</li> <li>鎌倉仏教や文化の特色について理解するとともに、農業技術や手工業・商業の発達とそれともなう生活の向上について理解できたか。</li> </ul>

### 4 学習指導計画（全5時間）

- (1) 院政と平氏政権
  - ・ 武士がおこった背景を考え、院政のもとで武士の地位が高まることを捉える。…………… 1
- (2) 武家政治の成立と封建制度
  - ・ 鎌倉幕府の確立と武士の暮らしについて捉える…………… 1
- (3) 承久の乱と武家政治の広まり
  - ・ 承久の乱ののちに、武家政治が広がったことを捉える…………… 1 [本時]
- (4) 10～13世紀ごろの世界
  - ・ 宋、高麗での国際文化の広がりや東西の交易について捉える…………… 1
- (5) 新しい仏教と鎌倉文化
  - ・ 産業技術の発達と鎌倉時代に生まれた新しい仏教や文化の特色を捉える…………… 1

## 5 本時の指導（3／5）

### （1）目標

- ・鎌倉幕府の支配が広がっていった理由を考察し、説明することができる。
- ・御成敗式目の資料から、法令が社会に与えた影響を推測する。

### （2）展開

【既習の学習】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・源平の争いののち、鎌倉幕府が成立し、主従関係による支配体制がつけられた。</li> <li>・守護と地頭の権限について、公家と武家の二つの政府による支配体制がはじまった。</li> </ul>			
学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
1 本時の題材に対する関心を持つ。	○頼朝が死去し、源氏の将軍が3代で絶えてしまう。	○家系図で、源氏の流れを確認する。	
2 共有の課題を把握する。		○年表で、鎌倉時代を確認する。	
なぜ、源頼朝の死後も、鎌倉幕府の支配は広がったのか？（学習課題1）			
3 共有の課題を追究する。 ・予想する ・執権政治と承久の乱の経緯を調べる。 ・承久の乱ののち、西国の武士への対処とその影響を調べる。	○執権政治と北条氏 〈鎌倉幕府のしくみ〉 〈北条氏の家系図〉 ○承久の乱 〈北条氏追討の命令〉 〈北条政子の訴え〉 ○承久の乱後の支配体制 〈承久の乱後の動き〉	○【協同】頼朝死後の支配体制の変化について4人組で調べる。  【表現と共有】 ○源頼朝の死後の鎌倉幕府について、調べたことを発表する。	[思考・判断・表現] 源頼朝の死後、鎌倉幕府の支配が広がった理由を説明する。 〈ノート・発表〉 A:複数の理由をあげて説明している。
・御成敗式目の制定について知る。	○御成敗式目		
4 ジャンプの課題を把握する。			
御成敗式目は、鎌倉幕府の政治の安定にどのような影響を与えたのだろうか？（学習課題2）			
5 ジャンプの課題を追究する。 ・御成敗式目の現代語訳の資料から読み取る。	〈御成敗式目（現代語訳）〉	【協同】4人組で調べる 【表現と共有】 ○資料から読み取り、考えたことを発表する。	[意欲・関心・態度] 資料を読み取り、影響を考えようとしている。 〈観察・ノート〉 A:複数の条項から影響を考えている。
【次時や別単元での学習】			
<input type="checkbox"/> 東アジアの宋や元、高麗との交易や文化交流を理解する。 <input type="checkbox"/> 東アジアとヨーロッパのつながりを理解する。			